

平成29年度 特別研究推進費実績報告書

平成 30 年 5 月 11日

北九州市立大学長 様
 (所属・職名) 外国語学部・教授
 (氏名) 大平 剛

平成29年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	北九州市をフェアトレードタウンにするための方法論研究						
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	北九州市をフェアトレードタウンにするためにどのような活動が必要かを学ぶために、既にタウンに認定されている3市を訪問し、関係者にヒアリング調査を実施した。逗子市では、フェアトレードショップ@マーレ店主の磯田昌子氏や推進委員会の長坂寿久氏、それに逗子市役所市民協働課課長と係長から現状と課題についてお話を伺った。名古屋市では、推進の功労者である土井ゆきこ氏、原田さとみ氏、杉本皓子氏の三氏からお話を伺うとともに、市役所環境局の方からもブリーフィングを受けた。最後に訪れた熊本市では、最大の功労者である明石祥子氏ならびに市役所政策局国際課係長から現状と課題について伺った。逗子市で印象深かったことは、フェアトレードの運動が池子の米軍住宅をめぐる住民間の亀裂を緩和させる要素をもって取り組まれているということであった。名古屋市では、三名の推進者が各自の役割を果たし、相乗効果を生み出しながら、様々な関係者を巻き込んでいったという流れがつかめた。月一でマルシェを開催し、高校生や大学生を動員しながら、ムーブメントを起こすことで、市議会や市長の理解を深めたということは大いに参考になった。熊本市は震災の影響や運動の中心であった明石氏のショップが全焼したこともあって、運動の継続に支障が生じていることが判明した。						
事項	使用内訳(単位:千円)						
	合計	備品費	消耗品費	図書費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	516	0	6	24	20	44	422
支出金額	411	0	18	52	0	0	341
執行残額	105	0	-12	-28	20	44	81
共同研究者	所属・職名	氏名		役割分担等			
	外国語学部・教授	大平 剛		研究代表者、全体統括			
	外国語学部4年生	北島雄太		共同研究者、調査、分析			
	外国語学部1年生	新垣槇梧		共同研究者、調査、分析			
	外国語学部1年生	伊藤七美		共同研究者、調査、分析			
	外国語学部1年生	多田羅茜		共同研究者、調査、分析			